

事 務 連 絡
平成16年1月13日

各 検 疫 所 長 殿

検 疫 所 業 務 管 理 室 長

ベトナムで発生した高病原性鳥インフルエンザ患者に係る情報提供について

WHOからの情報により、ベトナムのハノイにおいて肺炎患者から、高病原性鳥インフルエンザウイルス(H5N1)が分離されたことが判明しました。

現段階では、このウイルスによる市中感染の兆しはありませんが、当該地域への渡航者に対して、別紙のとおり、情報提供と注意喚起をお願いします。またWHO、国立感染症研究所等のホームページ等から最新情報の収集に努めるとともに、帰国者で、インフルエンザ様症状を呈する者は早めに医療機関を受診するように適切な情報提供を併せてお願いします。

ハノイ(ベトナム)における高病原性鳥インフルエンザ 患者の発生について

ベトナムのハノイで発生した肺炎患者が高病原性鳥インフルエンザであることが確認されました。このウイルスによる感染の流行の兆しは現在のところありませんが、当該地域へ渡航される方は次の点に留意するとともに、生きた鶏等を販売している市場等には立ち入らないようにして下さい。

高病原性鳥インフルエンザとは

- (1) 鳥インフルエンザのうち、感染した鳥の死亡率が高い特定のウイルスのもので、鳥から鳥へ直接、又は水、排泄物等を介して感染します。鶏、あひる、七面鳥、うずら等が感染し神経症状、呼吸器症状、消化器症状を呈します。
- (2) 感染した鳥との密接な接触等により、人に感染した事例が希に報告されています。食品(鶏卵、鶏肉)を食べることにより人に感染した報告はありません。

(参考)

一般的なインフルエンザの予防方法

- (1) 旅行前の注意
出発前から体調が悪いと抵抗力が落ちることから、出発前から体調を整えることは病気の予防にも大切なことです。
- (2) 旅行中の注意
体調に不安がある場合は、人混みや繁華街への外出を控えましょう。
また、外出時にはマスクを利用したり、宿泊先では加湿器などを使って適度な湿度を保ちましょう。うがい、手洗いは、かぜの予防と併せておすすめします。
- (3) 旅行後の注意
海外旅行から戻って、発熱、鼻汁、鼻づまり、くしゃみ、せき、のどの痛みなどのインフルエンザ様症状があれば早めに医療機関を受診してください。